

# 商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2018年5月調査結果-

## 調査概要

- 調査期間 2018年5月8日～28日
- 調査対象 200社
- 回答企業 114社
- 回収率 57.0%

### ※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 従業員：(不足) - (過剰)

## 旭川市概況

※全産業の5月の状況を見ると業況DIは、前月より2.2ポイント改善の▲21.9となった。

2017年9月以来9ヶ月連続でマイナス水準を推移している。

※向こう3か月の全産業における、先行き見通し業況DIは▲21.9、当月に比べ横ばいを見込んでいる。

## 旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2017年 12月	2018年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 2018年6月～8月
業況	▲6.7	▲11.3	▲20.0	▲15.2	▲24.1	▲21.9	▲21.9
売上	6.7	2.8	▲2.8	4.7	▲18.7	▲14.9	▲16.0
採算	▲7.7	▲17.8	▲20.0	▲12.4	▲22.4	▲21.9	▲15.8
仕入単価	▲33.3	▲41.1	▲41.8	▲41.9	▲33.0	▲39.4	▲35.1
従業員	35.2	30.8	22.7	29.5	32.1	31.9	33.4
資金繰り	▲2.9	▲5.6	▲10.9	▲11.4	▲8.0	▲6.2	▲5.3

## 旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2017年 12月	2018年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 2018年6月～8月
建設	3.7	▲3.7	▲22.2	▲11.1	▲19.3	▲16.0	▲24.0
製造	0.0	▲7.4	▲21.8	▲16.0	▲29.2	▲27.6	▲24.2
卸売	▲13.1	▲19.0	▲20.0	▲22.7	▲23.8	▲28.6	▲23.8
小売	▲26.7	▲33.3	▲31.3	▲13.3	▲23.5	▲29.4	▲29.4
サービス	▲6.3	0.0	▲5.3	▲12.5	▲25.0	▲9.1	▲9.1

## 今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設資材の高騰による利益の圧迫。下請け業者不足により施工単価の高騰（総合工事）</li> <li>・専門業種だが、業界全体が不調である。少子高齢化、人口減少の波で淘汰は避けられないであろう。生き残るには時代に併せて変化しなければならない。（設備その他）</li> <li>・9月以降の仕事が見えてこない。少々不安。（建築）</li> </ul>
製造業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事が減っているので、仕事があっても価格の低下で利益がなかなか取れない。（印刷・出版）</li> <li>・前年のイベント等スポット案件の埋め合わせができない状況にある。インターネット普及による印刷マーケットの縮小傾向は変わらず、前年の実績を維持する事が難しい（印刷・出版）</li> <li>・仕入価格の上昇を製品に追加できていない。送料の上昇、今までメーカー元払の運賃が着払いに変わってきている。（印刷・出版）</li> <li>・新築する施主の予算減少、数年後からの着工数減少（人口減少も含む）。ゼネコン、ビルダー、工務店による仕入先への値引交渉の激化。競合相手のダンピング合戦。他県からの競合参入。《まとめ》全体のパイが減少することにより、価格競争が激化する事が予想される。（家具木材）</li> <li>・受注状況は昨年に引き続き安定はしている。しかし、一昔前に比べると仕事量が減っているのは間違いない。スリム化を図り売上が減った中でも利益を出せるようにはなってきたが、まだまだ強固な体質の組織作りと経営手腕が問われる覚悟を持つ。（金属業他）</li> </ul>
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上・利益とも前年を下回った。今後においても好材料が見当らず先行き不透明（機械鋼材）</li> <li>・灯油の仕入価格が上昇傾向にあり、それに見合う価格転嫁が厳しい状況となっています（その他）</li> </ul>
小売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買物公園(中心部)のお店の数が減り、行くお店がないと話すフリー客が増えている。自店にとってはフリー客が増加することで来店する客が増えるため良いが、なかなか売上に結びつける事が出来ない。（衣料品）</li> <li>・どこの業界も人手不足と聞きます。自社も求人を数回重ねやっと最低人数のスタッフが揃いました。GWは雨のせいもあり観光客の入込みが少なくこの観光地も前年割れのようなです。小売りとしてこれから先は販促経費をかけずにいかに売上をつくるかがポイント。普段からあれを買うならここで・・・と言われるようになるためには人の力しかない。（衣料品）</li> <li>・店舗リニューアルによる設備資金需要。（食料品）</li> <li>・従業員不足が解消されない。（その他）</li> <li>・連休中の天候が良くなく販売が思うように伸びなかった。原油価格上昇で収益性が低下し始めている。（その他）</li> </ul>
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕入は少しずつ値上りしております。（シーツ、タオル、テーブルクロス）。当社対応は中国、ベトナムに出張所を設け外国より取引しカバーしております。人材もベトナムより15名ほど採用（研修生）しており、当分心配いりません。観光は上川管内では減少です。トナム、ニセコ、札幌が増加で売上前年比5.3%増です。（理美容クリーニング）</li> <li>・GW期間の天候の悪さと日程の関係で対前年より不調、しかしGW明けは順調に回復し着地は前年並み。経費関係は前年より増えている事から、見通しも売上増だが採算は前年並み。（ホテル旅館）</li> <li>・従業員不足（ホテル旅館）</li> <li>・今期は新型機器の導入により、新分野での受注を大きく伸ばすことが出来た。（その他）</li> <li>・ゴールデンウィーク期間天候が悪かったが、あまり影響が無かった。（飲食）</li> <li>・軽油等の価格の増加（運送）</li> <li>・車庫在庫減少、売上減少（自動車整備）</li> </ul>

## 旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	<p>売上 DI1.1 ポイント悪化、採算 DI3.3 ポイント改善、仕入単価 DI13.4 ポイント悪化、資金 DI3.7 ポイント悪化、従業員 DI2.0 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 3.3 ポイント改善となった。業種別では、設備・その他、建築横ばい、総合工事 11 ポイント改善となった。建設資材の高騰による利益の圧迫。下請け業者不足により施工単価の高騰との声も寄せられている。</p>
製造業	<p>売上 DI4.8 ポイント悪化、採算 DI4.6 ポイント悪化、仕入単価 DI7.4 ポイント悪化、資金 DI6.2 ポイント悪化、従業員 DI2.3 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 1.6 ポイント改善となった。業種別では、食料品 27 ポイント、家具・木材 50 ポイント悪化、印刷・出版 31 ポイント、金属窯業他 12 ポイント改善となった。受注状況は昨年に引き続き安定はしている。しかし、仕事が減っているため、仕事があっても価格の低下で利益がなかなか取れないとの声も寄せられている。</p>
卸売業	<p>売上 DI19.1 ポイント悪化、採算 DI14.3 ポイント悪化、仕入単価 DI ほぼ横ばい、資金 DI4.8 ポイント悪化、従業員 DI4.8 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 4.8 ポイント悪化となった。業種別では、機械鋼材 13 ポイント改善、繊維・衣服等、食料品で横ばい、その他 13 ポイント改善となった。売上・利益とも前年を下回った。今後においても好材料が見当らず先行き不透明との声も寄せられている。</p>
小売業	<p>売上 DI23.5 ポイント改善、採算 DI 横ばい、仕入単価 DI5.9 ポイント悪化、資金 DI5.9 ポイント改善、従業員 DI は横ばいとなった。総じて業況 DI は 5.9 ポイント悪化となった。業種別では、食料品 25 ポイント、自動車 20 ポイント改善、衣料品 8 ポイント、その他 33 ポイント悪化となった。連休中の天候が良くなく販売が思うように伸びなかった。原油価格上昇で収益性が低下し始めているとの声も寄せられている。</p>
サービス業	<p>売上 DI25.7 ポイント改善、採算 DI20.5 ポイント改善、仕入単価 DI3.8 ポイント悪化、資金 DI20.8 ポイント改善、従業員 DI1.1 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 15.9 ポイント改善となった。業種別では、理美容・クリーニング 17 ポイント悪化、整備業、運送で横ばい、ホテル・旅館 50 ポイント、その他 3 ポイント、飲食 33 ポイント改善となった。GW 期間の天候の悪さと日程の関係で対前年より不調、しかし GW 明けは順調に回復し着地は前年並みとの声も寄せられている。</p>